

兵庫県立尼崎青少年創造劇場 ピッコロシアターは、  
1978年（昭和53年）8月に開館しました。

劇場には、観やすさと使いやすさを追求した  
大ホール（396席）のほか、中ホール（収容人数200名）、  
小ホール（収容人数100名）と練習室、  
演劇に関する書籍・資料を豊富に所蔵する  
資料室（書庫・閲覧室）があります。

開館以来、質の高い舞台芸術の上演や  
文化セミナー、実技教室など、多彩なプログラムを  
地域のみなさんに提供し、鑑賞、創造、  
そして交流の場としての役割を担ってきました。

また、舞台づくりを通して地域文化を支える  
人材の育成をめざす「ピッコロ演劇学校」  
舞台芸術を支える舞台美術・照明・音響の技術を学ぶ  
「ピッコロ舞台技術学校」の運営、  
全国初の県立劇団「ピッコロ劇団」による創作活動など、  
先駆的な事業を展開しています。

Web <https://piccolo-theater.jp>  
Twitter @piccolo\_theater



## ACCESS

大阪からも神戸からも30分以内  
近畿エリア全域から通学可能です。

姫路から80分  
京都から50分

### 鉄道をご利用の場合

神戸方面 阪急電車 神戸三宮 — 特急15分 → 西宮北口 — 普通5分 → 塚口  
から JR 三ノ宮 — 新快速16分 → 尼崎 — 普通4分 → 塚口

宝塚方面 阪急電車 宝塚 — 普通15分 → 西宮北口 — 普通5分 → 塚口  
から JR 宝塚 — 普通23分 → 塚口

大阪方面 阪急電車 大阪梅田 — 普通12分 → 塚口  
から JR 大阪 — 普通12分 → 塚口



学校案内 /  
募集要項・願書

# PICCOLO DRAMATIC SCHOOL

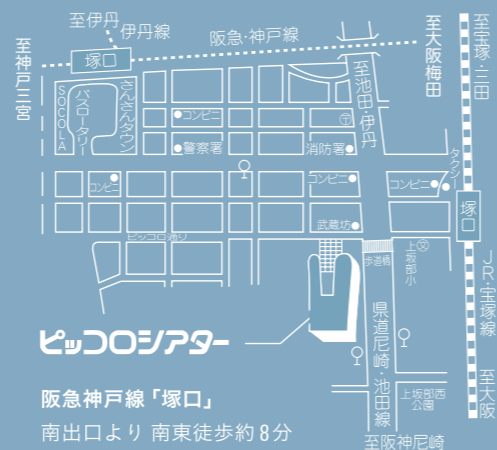
ピッコロ演劇学校  
ピッコロ舞台技術学校



兵庫県立尼崎青少年創造劇場  
ピッコロシアター

ピッコロ演劇学校  
ピッコロ舞台技術学校

〒661-0012  
兵庫県尼崎市南塚口町3丁目17番8号  
TEL 06-6426-1940  
FAX 06-6426-1943  
月曜日休館（祝日の場合は翌日）



阪急神戸線「塚口」  
南出口より南東徒歩約8分  
JR宝塚線「塚口」  
西出口より西へ徒歩約5分  
阪急バス / 阪神バス  
「ピッコロシアター」下車すぐ



文化庁文化芸術振興費補助金  
（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）  
独立行政法人日本芸術文化振興会

兵庫県立尼崎青少年創造劇場  
ピッコロシアター



# ピッコロ演劇学校 ピッコロ舞台技術学校 とは？

ピッコロシアターが運営する、演劇と舞台技術を学べる学校です。  
演技を通じて舞台の楽しさを知る、**ピッコロ演劇学校**。  
舞台を支える技術を学ぶ、**ピッコロ舞台技術学校**。  
劇場での学びを通して、多くの人々に感動と笑顔を届けます。

週2日・夜間開講で、社会人・学生でも無理なく通えます。  
リーズナブルな授業料で、充実の講師陣。  
未経験でもイチから学べます！  
劇場ならではの絶好の環境で、仲間と舞台を創る喜びを！



## INDEX 学校案内

- P3- ピッコロ演劇学校について
- P5- ピッコロ舞台技術学校について
- P7- ピッコロで学ぶという事
- P9 多彩な講師陣
- P10 授業会場・劇場施設
- P11 よくある質問
- P12 オープンキャンパスについて



# ピッコロ演劇学校

## 本科・研究科

地域文化を高め、日本の演劇創造をリードする人材を育成するため、1983年に全国の公立文化施設で初めて開設されました。舞台作りの楽しさや面白さを味わいながら、表現力や想像力を身に付けることを通じて、演劇界はもちろん、地域文化活動で活躍できる人材を輩出しています。



### [本科]

#### 舞台の楽しさ・面白さを味わおう

演劇に興味がある方・初心者が対象。演劇理論や身体表現術、トレーニング法など。演劇を通してコミュニケーションの大切さや楽しさを学びます。

### [研究科]

#### 実践的な創造力・企画力を身につける

本科修了者や他の養成機関を修了した方が対象。本科で学んだことをベースに、さらに高度な演劇技術を学びます。

#### 初心者でもよくわかる、座学と実技の

#### バランスが取れたカリキュラム

演劇論、発声や身体表現の基礎、日常の訓練方法から舞台上演の実際まで、イチから分かりやすく1年間で学べます。

#### 半期ごとに発表会・公演を実施

華やかなライト、客席からの惜しみない拍手を浴びて、舞台上に立つ喜びが感じられます。

#### 最高のメリットは実際の劇場舞台で学べること

本物に触れることで、演劇部や地域で演劇活動を行うためのノウハウが分かりやすく効果的に身につきます。

### 特別講義

日本を代表する演劇人、舞台技術者による特別講義\*が受けられます。  
\*土・日曜日に開催(年数回)



鐘下辰男「戯曲読解について」



岩松了「演劇的な言葉について」



平田オリザ「演劇を学ぶとは…」

### 授業内容

基礎演技  
身体トレーニングの基本  
舞踊の基礎  
演劇論  
戯曲研究  
うたうための発声  
即興演技  
対象物訓練  
演出論  
シーンスタディ など

### 開講期間 / 日時

4月から翌年3月までの1年間  
週2日(火曜・木曜)、夜間(18:40～20:40)

### 受講資格

原則として18～35歳までの健康な人  
(上記年齢外でも教員や文化活動をしている人は可能。  
出願前に必ずご相談ください)

### 定員(予定)

本科 40名  
研究科 20名

### 年間授業料

本科 120,000円  
研究科 132,000円  
※上記年額を3回に分けて、学期ごとに納めて頂きます。

### 参考 2022年度生の状況

在籍者数  
本科 17名  
研究科 22名  
年齢構成  
平均年齢 24.4歳(最年長 49歳/最年少 18歳)  
居住地  
兵庫県内 26名/他府県 13名

### 年間スケジュール

[本科] [研究科]

4月上旬	後期選考試験	
4月下旬	合同入学式	
5月	歌唱・踊り・狂言・戯曲研究 マイム・舞台実習など、 演技の基礎を学ぶ座学や実習	演技の基礎トレーニング 即興訓練など、 演技を深く学ぶ専門的な実習
6月		
7月		
8月	夏休み	
9月	前期発表会に向けた 作品作り・稽古	前期発表会に向けた 作品作り・稽古
10月下旬	Piccolo Passo (前期発表会)	
11月上旬	通常授業、 合同卒業公演に向けた 作品選定	Piccolo Passo (前期発表会)
11月		通常授業、 合同卒業公演に向けた 作品作り・稽古
12月		
年末年始	冬休み	
1月	合同卒業公演に向けた作品作り・稽古 演劇学校オープンキャンパス	
2月		
3月上旬	合同卒業公演(ピッコロ演劇学校・舞台技術学校)、修了式	
3月中旬	前期選考試験(次年度)	

# ピッコロ舞台技術学校

## 美術・照明・音響

1992年に全国の公立文化施設で初めて開設された、舞台技術を学ぶための学校。実際の劇場設備や機材をフル活用し、スタッフワークの基礎を効果的に身に付けることができます。プロの技術者として活躍している卒業生も多く、実践を重視したカリキュラムには定評があります。



### [美術コース]

デザインの考え方から大道具の製作まで、舞台美術を広く学ぶことができます。

### [照明コース]

機材の操作や、公演の照明デザインのプランニングまで、実践的な環境で学べます。

### [音響コース]

ライブや演劇のオペレーションだけでなく、効果音製作のノウハウも学べます。

### 基礎から本番まで、イチから学べる丁寧な講義

舞台や電気などに関する基礎知識から、美術・照明・音響に分かれての専門的なスタッフワークまで、1年間で学習。

### 実践重視のカリキュラム

第一線で活躍する講師陣の指導のもと、劇場で実際に使用されている機材を存分に使って、本格的な実習を行います。

### 確かな技術で広がる未来

卒業生はプロとして活躍している人、地域の文化活動に参加している人、教育現場で活かしている人など、様々な分野で活躍しています。

### 授業内容

#### [美術コース]

舞台美術プラン  
舞台進行  
大道具製作  
舞台機構の基本操作 など

#### [照明コース]

舞台照明設備と機器  
舞台照明概論  
電気の基礎知識  
照明デザインと操作 など

#### [音響コース]

音響ブランデザイン  
機材操作と音編集  
メンテナンス実習  
演劇の音響 など

#### [実習]

クラシックコンサート  
軽音楽ライブ  
舞台機構操作  
ホール仕込み  
兵庫県立芸術文化センター特別授業\* など

\* 兵庫県立芸術文化センターでの特別授業を、同センター舞台技術部講師陣の指導及び、(株)ひょうごT2のスタッフの協力により行います。

### 開講期間 / 日時

4月から翌年3月までの1年間  
週2日(水曜・金曜)、夜間(18:40～20:40)

### 受講資格

原則として18～40歳までの健康な人  
(上記年齢外でも教員や文化活動をしている方は可能。  
出願前に必ずご相談ください)

### 定員(予定)

30名

### 年間授業料

100,000円  
※上記年額を3回に分けて、学期ごとに納めて頂きます。

### 参考 2022年度生の状況

在籍者数

23名

年齢構成

平均年齢 29.7歳(最年長 59歳/最年少 19歳)

居住地

兵庫県内 11名/他府県 12名



服部 基「舞台照明を考える」



山北 史郎「音の話～音響効果の基礎～」

### 特別講義

日本を代表する演劇人、舞台技術者による特別講義\*が受けられます。  
\*土・日曜日に開催(年数回)



堀尾 幸男「舞台美術のはじまり」

### 年間スケジュール

一学期	4月上旬	後期選考試験
	4月下旬	合同入学式
	5月	舞台に関する知識の基礎
	6月	6月下旬…舞台機構操作実習 7月…クラシックコンサート実習 学期末に専攻コースを選定
二学期	7月	
	8月	夏休み
	9月	コース別の専門的な授業がスタート
	10月	兵庫県立芸術文化センター特別授業* (9～10月のどこかで3日間連続開講)
三学期	11月	
	12月	軽音楽ライブ実習(12月上旬～中旬で4日間連続開講) 舞台技術学校オープンキャンパス
	年末年始	冬休み
	1月	合同卒業公演に向けた、各コースプラン制作と作品作り
	2月	
3月上旬	合同卒業公演(ピッコロ演劇学校・舞台技術学校)、修了式	
3月中旬	前期選考試験(次年度)	



# ピッコロで学ぶという事

ピッコロの卒業生たちは、プロとして舞台やバックステージで活動しているほか、教育現場や地域の文化活動に貢献したり、団体を立ち上げて舞台芸術活動を行うなど、ここで学んだ知識を生かして、さまざまな分野で活躍しています。

これまでに、演劇学校 2,025 名、舞台技術学校 844 名、計 2,869 名の方々が学び、巣立っていきました。(2023年3月末現在)

ここでは、卒業生の声をご紹介します。



2017年度  
在学時の様子

## 林 空樺さん | 2016(平成28)年度・2017(平成29)年度【美術コース】卒業

舞台技術者(株式会社すくらんぶる勤務)

高校卒業と同時に舞台技術学校に入学。下宿しながら2年間舞台美術を学び、卒業後に今の職場に。吉本新喜劇の仕事を中心に舞台セットのデザインやパネルの製作などを担当しています。

子どものころから絵と映画が好きで、テレビや映像関係の仕事に憧れていました。高校在学中に夏の甲子園(高校野球)のポスターに自分のイラストが採用されたことで、その思いはあっという間に強くなり、美術が学べる学校を探していた時に母が見つけてくれたのが「ピッコロ舞台技術学校」でした。当時は舞台というものを全く知らなくて、舞台でもテレビでも基礎は変わらないだろうと簡単に考えていたのですが(実際はかなり違った…)、結果的に舞台の面白さを知ることができたのでこの学校を選んで良かったと思っています。

職場では舞台で使われる道具や背景パネルなどのデザイン・製作を担当しています。難しいですが、これまで培ったこと新しく学んだことなど自分の中のアイデアが活かせる場面もたくさんあってデザインの面白さを感じながら働いています。いまはまだ、技術や経験が足りなくて、なかなか想像通りのものが描けませんが、思うように描けるようになったら、もっと世界を広げて自分の納得いく作品を作りたい!というのが目下の夢です。この学校を受けようかと考えている皆さん!大したことは言えませんが、描く時の感情が作品に現れると思うし、ワクワクして憧れを持ってモノづくりをすると個性的で心に響く作品が作れると思います。ピッコロ舞台技術学校は、そんな感情を持たせてくれる、ワクワクした時間をくれる学校です。わたしは18歳で入学しましたが、社会人の方も多かったし初心者でも全然大丈夫です。やってみたい!という気持ちだけでOKですので、ぜひ扉をたたいてみてください。その先にはドキドキが待っていますよ。

## 村田 晴弥さん | 2021(令和3)年度【音響コース】卒業

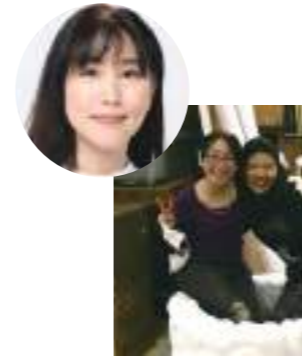
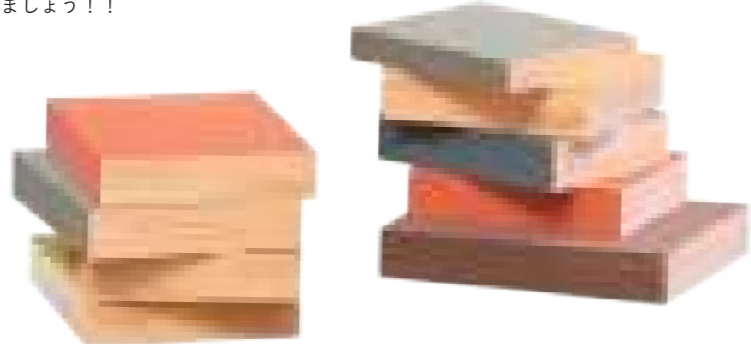
舞台技術者(株式会社パソナスマイル公演制作部テクニカルチーム勤務)

将来音響の仕事がしたいと舞台技術学校に入学。卒業と同時にイベント関連会社の技術スタッフとして採用され、現在は淡路島のパソナ関連施設でのオペレーターとして活躍中です。

私は現在、テーマパークやイベントスペースで音響・照明スタッフとして勤務しています。目が回るほど忙しく仕事中心の日々ですが、とても充実しています。この文章を読んでいる人はピッコロ入学を考えている人だと思いますが、よくぞこの学校を見つけましたね!と、まずあなたを褒めてあげたい。この学校は授業料が安すぎるにもかかわらず、その何倍もの価値があります!頑張り人、頑張り人とする人を応援してくれる!(いい意味で)中毒性がある、1年通っただけでは足りない、もっともっと居たくなる学校です。まだ新人の域の自分が言うのも何ですが、やりたい事があるなら一生懸命取り組めば、必ず出来る!答えが出るまで時間がかかるかも知れないけど、少しでも早く動き出すことが大事!大変なことも多いけど好きと言う気持ちがあれば頑張れる。これは自分が実践していることなので自信を持って言えます。みなさんは是非(ピッコロ舞台技術学校)へ来ててください。プロとして活躍している先輩達も多く、講師として指導くださっている先輩もいらっしゃいます。私も将来、必ず講師として戻って来ますので、一緒に燃える演劇を作りましょう!!



2021年度  
在学時の様子



2009年度  
在学時の様子

## 清田 千恵子さん | 2001(平成14)年度【本科】・2009(平成21)年度【美術コース】卒業

劇団演陣 代表・演出/大手前大学講師

ピッコロ演劇学校・舞台技術学校両校を卒業。大手前大学の卒業生を中心に「劇団演陣」を旗揚げ。演出・出演・脚本などを手掛けられているほか、大学で演劇ゼミの講師として後進の指導にもあたっています。

演劇が好きだから、観たい、知りたい、作りたい。そう思ったならば、ここ(ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校)は、その願いを叶えてくれます。この学校で過ごした時間は、私にとって本当に有意義でした。第一線で活躍されている先生の授業はもちろんですが、そこに集まる人達もまた、学ぼうという意欲に溢れていて、エネルギーをたくさんいただきました。どの先生方も舞台と向き合うことに楽しさを感じておられて、技術面だけでなく、生きるエネルギーをもらいました。演劇をつくる過程は大変なことももちろんあるかもしれませんが、とても楽しく、生きている実感があふれ、喜びに溢れています。

私は今、主宰している劇団演陣で、地元の子供たちと一緒に舞台をつくっています。今も、これからも勉強中の身ではありますが、根底にずっと、ピッコロで過ごした時間と出逢った方々がいます。これは私の宝物です。きっとこれを読んでいるあなたも、大変かもしれないけれど、やってみようかなあ、どうしようかなあ、と考えるおられることと思います。あなたも宝物を探しに冒険にいきませんか?



2017年度(研究科)  
卒業公演「新天地へ〜ある家族たちの物語〜」より

## 河東 真未さん | 2016(平成28)年度【本科】・2017(平成29)年度【研究科】卒業

劇場職員(ピッコロシアター勤務)

演劇を通して子供たちを支援するボランティア活動をきっかけに演劇学校に入学。卒業後ピッコロシアター職員として採用され、平成30年から約5年間兵庫県立ピッコロ劇団の公演制作を担当。現在は業務部に勤務しています。

私は当時の仕事と参加していたボランティア活動の関係で、ふと、舞台に立つ役者の気持ちをもっと体験したいと思い、ピッコロ演劇学校へ入学しました。とは言いつつも、積極的に「舞台に出たい!」と思っていたわけではなく、どちらかと言えば人前で演技するのは恥ずかしい、公演に出演するのは怖い…と当初はとにかくビビり倒してしまっていました。しかしそんな人間が本科の卒業公演にビキニ+網タイツ姿でノリノリで出演してしまうくらいに、演劇はこれまでの凝り固まった考えや心持ちを変え、度胸も付きます。恐ろしくすごいですね。ピッコロ演劇学校では、演劇を愛する熱い講師陣から舞台の楽しさを教えてもらい、同期たちと一つの作品を全力で取り組んでいるうちに演劇の楽しさを体感できるようになっていました。人生観もがっつり変わっちゃうような…これを読んでいる皆さんにもこの感じをぜひ味わっていただきたい…!本科・研究科と2年間演劇学校に通った後、ピッコロシアターの職員へ転職しました。ピッコロ劇団の公演制作を約5年担当し、今は鑑賞劇場や貸館といった劇場事業を担当しています。ピッコロでは素敵な先生や大切な仲間、そして新しい自分にも出会えます!皆様のご入学を心よりお待ちしております。



2016年度(本科)  
卒業公演「青い種子たち」より

## 下向井 勇真さん | 2016(平成28)年度【本科】・2017(平成29)年度【研究科】卒業

声優

短期大学で声優の勉強をしながらピッコロ演劇学校に通学。卒業後上京し、アニメーション映画の声優のほか、ボイスドラマやナレーションなどの仕事にも携わっています。

中学時代に演じた英語劇をきっかけに「なんか演劇って面白いかも!」と演技の世界に興味を持ち、「やったことがないことをやってみよう!」とアニメもほとんど知らなかったのに(!?)声優の世界へ飛び込みました。そんな僕も今では生涯「役者」として生きていきたい!と日々努力しています。声優のお仕事は、舞台上で演じることは違った難しさもありますが、「役者が舞台に立つために必要な基礎」をピッコロで学べた経験が、今の仕事にも大きく活かされています。他のレッスンでは受けられない授業がたくさんあって、今でもあの授業をまた受けたいなあ…と思うことがあります(笑)同期のみんなと老若男女を問わず仲良くなれたのは新鮮で楽しかった!今でもふとした時に連絡を取り合ったりすると、あったかい人とのつながりを感じられて嬉しくなったりします。コミュニケーションの楽しさを肌で感じながら一緒に何かを作りたいという人、そんな仲間を探している人にはうってつけの環境です!(授業料も安いです!)

演劇を志す人もそうでない人も、ピッコロ演劇学校・舞台技術学校のことがちょっとでも気になるなら、ぜひ!おすすめします!!



# 第一線で活躍する多彩な講師陣

本科主任 山田 裕



研究科主任 島守 辰明



美術主任 加藤 登美子



照明主任 水野 雅彦



音響主任 金子 彰宏



## 演劇学校

- いいむろなおき **マイム俳優 動く彫刻、動く止まるゆっくり動く**  
 伊賀 裕子 **振付師・元宝塚歌劇団 舞踊の基礎**  
 栗原 良明 **阪急電鉄(株) 歌劇事業部長 (宝塚歌劇団) アート・マネジメント研究**  
 桑山 智成 **京都大学大学院教授 戯曲研究**  
 善竹 隆司 **能楽師大蔵流狂言方 狂言を識る**  
 谷 省吾 **劇作家・俳優・いるか Hotel 主宰 即興〜共演する？**  
 内藤 裕敬 **劇作家・演出家・南河内万歳一座座長・大阪芸術大学教授 基礎舞台実習**  
 永田 亜紀 **声楽家 うたうための発声**  
 山田 裕 **兵庫県立ピッコロ劇団員**  
 島守 辰明 **兵庫県立ピッコロ劇団員**  
 杏 華 **兵庫県立ピッコロ劇団員**  
 菅原 ゆうき **兵庫県立ピッコロ劇団員**  
 田中 よし子 **本科助手**  
 中田 綾乃 **研究科助手**  
 柳田 麻希 **研究科助手**

## 舞台技術学校

### ◎ 美術コース

- 加藤 登美子 **舞台美術家・大阪芸術大学准教授 美術デザイン概論及びプラン実習**  
 木村 容紹 **株式会社ツムラエンタープライズ 課長 舞台装置製作実習**  
 炭谷 親弘 **神戸国際ステージサービス(株) 劇場の機構と設備 舞台機構の基本操作**  
 船越 あやか **大道具 舞台装置製作実習**  
 松永 英樹 **舞台背景画家 舞台背景画基礎実習**  
 綿谷 登 **日本舞台美術家協会 理事 西日本支部長 アイデアの創生**  
 渡辺 舞 **舞台美術家 みらい舞台美術塾 舞台美術のできるまで 道具製作実習**

### ◎ 照明コース

- 水野 雅彦 **舞台照明家 基本操作 機材操作実習**  
 岩花 さとみ **株式会社ハーツファシリティマネジメント本部 第3ファシリティマネジメントグループ 第2チーム 課長 中ホールの照明 ホール管理・運営に関して**  
 追上 真弓 **舞台照明家 株式会社カラメリ代表取締役 メンテナンス実習**  
 大川 貴啓 **舞台照明家 演劇照明の実際 機材操作実習**  
 荻野 龍 **パナソニック EW エンジニアリング(株) 近畿支店長 取締役 電気の基礎知識・舞台照明概論**  
 竹内 哲郎 **株式会社ハーツ テクニカルオペレーション本部 照明グループ シアターライティングチーム 課長 照明で場面を作ってみよう! ムービングライト実習 商業演劇の照明に関して**  
 松本 豊 **NHK大阪放送局 コンテンツセンター第1部(映像・照明) チーフ・リード テレビ照明とは**  
 三浦あさ子 **舞台照明家 ダンスの明かり**  
 森田 智子 **舞台照明家 JerryBeans 舞台照明デザイン ダンス照明研究**

### ◎ 音響コース

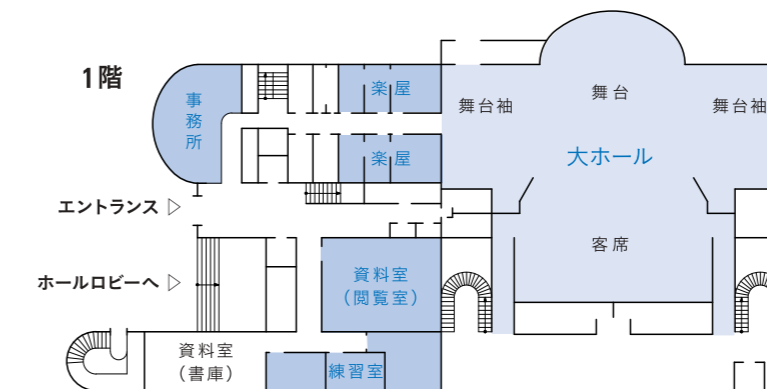
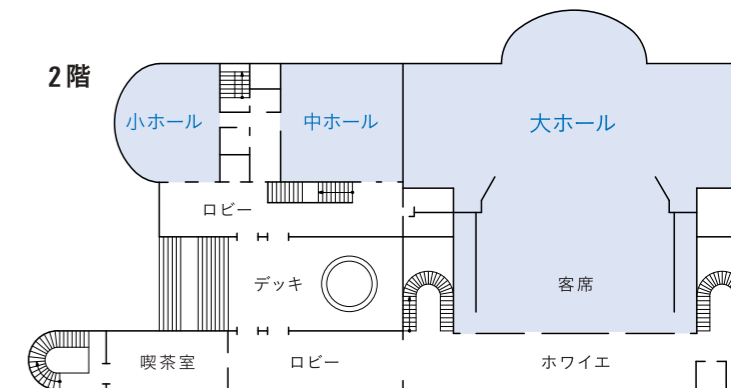
- 金子 彰宏 **兵庫県立芸術文化センター 舞台技術部 副部長兼主任舞台技術専門員 音のふるまい・音響という仕事 演劇の音響 音は空気を作る**  
 川西 俊行 **サウンドリパブリック代表 劇場の音響設備 メンテナンス実習 PA 基礎実習**  
 西川 文章 **音響エンジニア ライブ実習の基礎知識**  
 西田 美奈 **音響・PA エンジニア ピンマイクについて・仕込みについて**  
 平井 忠夫 **T-free CEO 結婚披露宴における音響**  
 増田 久典 **神戸国際ステージサービス(株) 映像チーム チーム長 PA 現場の流れ**  
 増田 郁子 **株式会社スタッフステーション お芝居の音響**  
 松原 秀行 **株式会社アウラサウンドワーク イベント PA 実習**  
 宮越 康弘 **西神中央ホール副館長・技術担当チーフ 音を操る**  
 森 正人 **スタジオえむ・サウンドデザイナー・オペレーター オーケストラについて**  
 安田 武司 **ヤマハサウンドシステム(株) 技術部副部長 音響設備の今昔**  
 吉田 涼 **音響エンジニア ライブ実習の基礎知識**  
 和田 真也 **音響エンジニア 軽音楽ライブ実習**

## 特別講師

- 岩松 了 **劇作家・演出家・俳優・兵庫県立ピッコロ劇団代表 演劇的なことばについて**  
 鐘下 辰男 **劇作家・演出家・演劇企画集団 THE・GAZIRA 代表・桜美林大学准教授 演技の基本**  
 平田 オリザ **劇作家・演出家・芸術文化観光専門職大学学長・劇団青年団主宰 演劇を学ぶとは…**  
 服部 基 **舞台照明家・ライティングカンパニーあかり組顧問 舞台照明を考える**  
 堀尾 幸男 **舞台美術家・(株) HORIO 舞台美術のはじまり**  
 山北 史郎 **音響デザイナー・(株)山北舞台音響 音の話 ~音響効果の基礎~**

# 授業会場・劇場施設

ピッコロシアターでの授業は  
 劇場が教室で、現場で実際に使われている機材が教材。  
 他にはない環境です。



大ホール (396席)



中ホール (収容人数 200名)



小ホール (収容人数 100名)



舞台袖



調光室



音響室



奈落



美術工房



事務所



楽屋



資料室(閲覧室)



練習室

## よくある質問

ピッコロ演劇学校・舞台技術学校によくお寄せいただく質問と回答をまとめました。

### Q. 働きながら、あるいは大学や専門学校などと両立して通学することは可能ですか？

可能です。発表会や公演の前など、練習が増え、準備等で忙しくなる時期もありますが、それぞれ仲間に事情を伝え、理解を取り合いながら、うまく都合をつけて取り組まれています。実際に、毎年、多くの社会人や学生の方なども入学し、卒業されています。

### Q. 演劇学校と舞台技術学校の両方に、同時に入学（在籍）することは可能ですか？

できません。ただし、演劇学校は舞台技術学校の、舞台技術学校は演劇学校（本科）の一部授業を追加費用なしで聴講することが可能です。  
※ 両校とも受験いただいて構いません。どちらとも合格した場合には、どちらの学校に入学するかを選択していただきます。

### Q. 通うことで、どれくらいの学習成果が期待できますか？

演劇学校・舞台技術学校の入学者のほとんどが、それまでまったく経験が無かった方々です。卒業までの1年間で主に基本を学んでいただきますが、劇場が教室という環境で、実際の設備や機材を使って学習するメリットにより、本人の意欲次第では、相当に密度の濃い実践的な技術も習得可能です。また、1年間の修了後には、さらに知識・技術を深めることを希望され、2年、3年と続けて通学される方が例年多くいらっしゃいます。

### Q. 舞台技術学校での専攻コースはどのように決まりますか？

1学期中はコース分けを行わず、美術・照明・音響すべての講義（基礎編）を受講していただきます。1学期末頃、2学期以降に行う専門別学習（実習中心）に向けての「希望コース調査」を行います。コース決定は、提出された希望を第一に尊重し、1学期の参加状況なども考慮しながら、主任講師との協議のうえ決まります。

### Q. 一番遠くから通学されている人は？

兵庫県内では、姫路市、丹波市、淡路島など。また、近隣府県では、奈良県、和歌山県、京都府、滋賀県などから、遠方では香川県や岡山県、三重県から通われていた方もいらっしゃいます。

### Q. 授業の見学はできますか？

現役生の授業の妨げになるため、随時の見学はできません。ただし、お問い合わせにより、劇場の空き時間などを考慮のうえ、教室（劇場）のご案内、担当者による学校概要説明をさせていただきます。また、年に一度、実際の授業に体験参加いただく「オープンキャンパス」を開催しています（P12参照）。

## オープンキャンパス

ピッコロ演劇学校・舞台技術学校では、年に1回オープンキャンパスを行っています。実際の授業を見学・体験するチャンス！学校概要、年間カリキュラムなどの説明、質疑コーナーを設けておりますので、ぜひご参加ください。



### 演劇学校

現役の演劇学校生と一緒に、劇表現の授業を実際に体験してみましよう！未経験でも安心！学校概要の説明会も開催します。

### 1月に開催

対象：18～35歳の方  
(上記年齢外でも教職員・文化活動をされている方は参加可能)  
※ ピッコロ演劇学校に興味がある・入学を検討している方向けの催しになります。



### 舞台技術学校

演劇・ミュージカル・バレエ・コンサート…華やかな舞台芸術の世界を裏側から支える「裏方さん」の仕事を体験してみませんか？全く知識や経験が無くても大丈夫です。

### 12月に開催

対象：原則、高校生以上の方

### 参加方法：

オープンキャンパスは入場無料、申し込みが必要です。例年、開催の約1～2か月前から募集を行っています。

※ 募集開始時期は変動する可能性があります。  
※ 希望者の方には案内を送付いたしますので、ホームページからお問い合わせください。  
※ 詳しい情報はピッコロシアターのホームページ・公式Twitterで随時発表いたします。

Web <https://piccolo-theater.jp>  
Twitter @piccolo\_theater





# 応募書類・手続きの説明

## ◎ 出願に必要なもの (コースにより提出書類が異なります)

		演劇学校 [本科]	演劇学校 [研究科]	舞台技術 学校
入学願書	【様式1】 P14	○	○	○
写真(身分証明書用) ※ 入学願書に貼り付け(前年度在籍者は不要)		○	(○)	○
調査票	【様式2】 P15	—	○	○
課題作文・調査票*	【様式3】 P16	○	—	—
受験料	3,000円	○	○	○

\* 本科受験者は課題作文「わたしの大切なもの・その理由」の提出が必要です。  
所定の用紙を使用し、自筆手書きに限ります。(パソコン等の使用不可)

## ◎ 出願手順 (来館/郵送 いずれかでお申込みください)

### 1 来館申込みの場合

出願書類一式と受験料3,000円(現金)をピッコロシアター事務所までお持ちください。

### 2 郵送申込みの場合 ※ 締切日必着日にご注意ください。

【現金書留】にて、出願書類一式と受験料3,000円を送付ください。

送付先住所:

〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町3丁目17-8

ピッコロシアター学校事務局

出願書類一式と受験料を確認後、領収書と選考試験関係資料

(受験票・課題など)をお渡しします。郵送受付の場合は郵便にて返送します。

届かない場合はお手数ですがご連絡ください。

→ 受付完了 (一度納めていただいた受験料は返金できませんのでご了承ください。)



[現金書留]

## ◎ 試験について (内容は前期・後期共通です)

選考会場はピッコロシアターです。必ず試験開始30分前までにお越しください。

当日は、受験票と受験料領収書を持参し、本館1階事務所で受付をしてください。

演劇学校受験者については、試験会場を移動するので、衣服を入れておく袋も必要です。

	試験内容	持ち物
演劇学校 [本科]	動き・朗読・面接  作文 ※ 出願時に提出	- 受験票・受験料領収書、朗読課題 → 申込み受付時にお渡し - 身体の線が見える動きやすい服・靴 (ジャージ、ショートパンツ、Tシャツなど) - 裸足になれるようにご準備ください
演劇学校 [研究科]	動き・朗読・面接	本科と同じ
舞台技術学校	面接	受験票・受験料領収書、筆記用具

## ◎ 合格発表について

ホームページ・館内掲示と郵送による通知を行いません。(電話やメールによる問い合わせ不可)

受付日 \_\_\_\_\_

# 入学願書

【様式1】

演劇学校 [本科]・[研究科]・舞台技術学校

(いずれかに○を付けて下さい)

受験希望日 <small>どちらかにチェックを入れてください</small>	フリガナ 氏名	写真  (前年度在籍者は不要) 縦4cm x 横3cm 3ヶ月以内に撮影したもの カラー・白黒どちらでも可
<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期		
受験番号	生年月日 西暦 年 月 日 年齢 性別 基準日: 受験年の4月1日 満 歳 男・女・その他	
住所	〒 -	

電話番号 ( ) Eメールアドレス @

携帯電話 ( ) 携帯メールアドレス @

学校・勤務先  
1. 在学中 ( 回生) 2. 社員  
3. アルバイトなど 4. その他 ( )

〒 -

学校・勤務地 電話 ( )

最終学歴 西暦 年 月 卒業  
卒業見込み

所要時間 学校・勤務先から 時間 分 自宅から 時間 分

現在の舞台活動  
1. している (団体名) a. 演劇 b. 音楽 c. 舞踊 d. その他  
2. していない

これまでの舞台活動歴  
1. 中学・高校・大学  
2. 専門学校(養成所)  
3. 劇団・舞台関係会社

ピッコロ学校在籍歴  
1. ある ・演劇学校 (本科・研究科) 期 ( 年) 修了・修了見込・中退  
・舞台技術学校 期 ( 年) 修了・修了見込・中退  
2. ない

既往歴  
1. ある (具体的に)  
2. ない

入学後に配慮が必要な健康状態や服薬中の薬など  
1. ある (具体的に)  
2. ない

備考	受付者印	領収書番号	書類確認
----	------	-------	------



# 調査票

【様式2】

## 演劇学校 [研究科]・舞台技術学校

(どちらかに○を付けて下さい)

受験番号	フリガナ
	氏名

- 1) [研究科] 受験者は、過去の学習を踏まえたうえで、「自己評価」を書いてください。  
[舞台技術学校] 受験者は、「この学校を選んだ理由」について書いてください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

- 2) [研究科]・[舞台技術学校] 受験者とも、「入学後の目標」について書いてください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

- 3) [研究科] 受験者は、1～4について好きな名前をそれぞれ1つ以上、書いてください。  
[舞台技術学校] 受験者は、これまでに鑑賞した中で印象に残っている作品を1つ以上、4に書いてください。

1. 劇作家	※ [研] 受験者記入
2. 演出家	※ [研] 受験者記入
3. 俳優	※ [研] 受験者記入
4. 作品	※ [研]・[技] 受験者記入

- 4) [舞台技術学校] 受験者のみ、入学後、特に学びたいと思っているコースを1つ選んでください。

1. 美術	2. 照明	3. 音響	4. 未定
-------	-------	-------	-------

# 課題作文・調査票

【様式3】

## 演劇学校 [本科]

受験番号	フリガナ
	氏名

- 1) 矢印に続き、以下のタイトルで課題作文を書いてください。(400字以内)  
「私の大切なもの・その理由」

⇒

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

- 2) 1から4について好きな名前をそれぞれ1つ以上、記入してください。

1. 劇作家	
2. 演出家	
3. 俳優	
4. 作品	

選考試験についての詳細なスケジュールは  
ホームページをご覧ください。



10月下旬	舞台技術学校 オープンキャンパス受付開始
11月中旬	演劇学校 オープンキャンパス受付開始
12月	舞台技術学校 オープンキャンパス
1月中旬	演劇学校 オープンキャンパス
	[前期・後期] 選考試験出願受付開始
3月上旬	合同卒業公演
3月中旬	[前期] 選考試験
4月上旬	[後期] 選考試験
4月下旬	合同入学式 ※ 18:30 開始 (予定)

Web

<https://piccolo-theater.jp/school/>



発行日： 2023年10月  
発行所： 兵庫県立尼崎青少年創造劇場

編集： ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校事務局  
撮影： 山田淳二  
ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校事務局  
編集補助： 杉谷紗香  
デザイン： nicole schmid  
印刷： ㈱小西印刷所